

終戦の日を迎えて

8月15日は終戦記念日です。終戦から66年がたった今なお、戦争による被害と戦っている方々がいまいます。空襲を経験された方の中には、東日本大震災の東北の映像を見て、戦争による焼け野原を思い出したという方もいます。私たちは両親や祖父母が経験した悲惨な過去を繰り返してはなりません。1万人以上の方が亡くなったといわれている大阪大空襲を経験した乾ケイさんにお話を伺いました。



写真上) 昭和20年3月13日の第1次大阪大空襲直後の大阪の町並み



写真下) 昭和20年6月1日大阪上空で港湾施設を爆撃中のB-29

大阪大空襲の記憶

当時の食料は配給制で、6人家族の私たちには、塩サケ(3人前)が配給された。配給は毎日あるものではなく、配給される品は塩サケが多かった。地域によって配給の品は違っていったようで、和歌山県の親戚に塩サケを持参すると、「こういういったものは配給されない」と喜ばれた。終戦の前、私は大阪の女学生で、母は祖父父母が住む香南市香我美町岸本へ弟・妹を連れて、疎開していた。終戦前は、毎日のように空襲があり、家はすでに焼失しており、私は、父の会社の寮に住んでいた。3月の大空襲の日、父は出兵前の兄に面会のため岸



乾 ケイさん
土佐山田町須江

本へ行っており、私は大阪に一人残っていた。地上からも爆撃機に乗った兵隊のゴーグルをつけた顔がはっきりと確認できた。焼夷弾が降りそそぎ、「たすけて〜」といううめき声がかたまる中、命からがら防空壕に逃げ込んだ。防空ずきんは焼け焦げ、三面焼け野原となり、寮も焼け死んでいた。荷物もひく馬も焼け死んでいた。住み家を失った私は、証明をもらい、無料で汽車に乗って岸本へ向かった。

◆香美市戦没者追悼式
市では、毎年、香美市の戦没者の追悼式を行っています。今年は、5月20日に、中央公民館で行われ、遺族ら約160人が参列しました。式では、戦没者に黙とうをささげた後、参列者が献花をしました。遺族らは、めい福を祈るとともに、あらためて平和への願いをこめて、祭壇に向かって手を合わせていました。

黙とうをささげましょう

- 広島市原爆投下時刻
8月6日午前8時15分
- 長崎市原爆投下時刻
8月9日午前11時2分
- 終戦記念日
8月15日正午



特集 日本三大鍾乳洞 龍河洞開洞80周年

日本三大鍾乳洞 龍河洞開洞80周年

龍河洞開洞80周年

80年の歩み

- 昭和6年8月 龍河洞公開
- 昭和9年12月 国天然記念物・史跡に指定
- 昭和12年3月 野市-龍河洞線開通
- 昭和14年7月 龍河洞保存会設立
- 昭和23年3月 洞内動物が天然記念物の追加指定を受ける
- 昭和25年12月 念願の国鉄バス開通
- 昭和27年10月 洞内電気照明完成
- 昭和34年7月 龍河洞博物館オープン 第2次洞内照明完成
- 昭和35年4月 珍鳥センターオープン
- 昭和35年10月 龍河洞観光センターオープン
- 昭和36年12月 駐車場完成
- 昭和39年2月 第2駐車場完成
- 昭和41年7月 国際観光会館オープン
- 昭和44年5月4日 1日の入洞者数最高記録 8,959人
- 昭和48年4月 龍河洞スカイライン開通 この年、年間入洞者数最高記録105万人
- 昭和49年4月 開洞1千万人突破
- 昭和51年4月 土佐山田駅前に神の壺のレプリカが置かれる
- 昭和60年3月 エスカレーター完成
- 平成11年7月 冒険コース開始
- 平成13年8月 龍河洞まつり始まる
- 平成22年4月 暗闇体験ツアー開始

開洞80周年記念

龍河洞まつり

日時 8月27日(土) 11時~21時
場所 龍河洞周辺
内容 もちなげ・洞内演奏・暗闇入洞体験(無料)・物部川流域のご当地グルメも登場。フィナーレには花火も打ち上げられます。
問い合わせ先 龍河洞保存会 53-2144



▲昭和6年公開当時の入り口付近



▲昭和8年ごろの入洞者 当時は照明がなかった



▲昭和49年入洞1千万人突破